

# 第13回 ロボットビジネス勉強会

フランクでフレンドリー。お気軽にご参加ください。  
質疑応答が活発。生っぽい本音がいっぱい聞けます。

## 平成年忘れ・経営課題解決セミナー

新元号下、生き残れる営業の青写真とトレンド、先端技術

# 営業効率化・省人化革命

費用削減と成果向上を両立、人材不足を解消

〔はじめに〕2020年代、生き残れる営業への青写真を描く

### I 最終決着は**営業生産性次第**

経理も採用も生産も営業も、前向きな企業解体が加速  
破壊的変革、あすの営業部門にかならず起こる3大潮流

### II フィールドセールスから**インサイドセールス**へ

外勤と内勤を切り分け、そして内勤を重視(比率は逆転)  
フィールドセールス(外回り)は上位2割の精鋭に限定

### III インサイドセールスは**オンライン商談**へ

リアルとウェブを併用、オンライン商談システムが一気に普及  
多忙な顧客が大拍手、接触頻度向上で顧客満足向上

### IV オンライン商談は**フルアウトソーシング**へ

営業志望者激減、採用も労務管理も営業管理も不要  
一商談当たりコストが50~90%低下、経営の重しがずっきり

### V うそ、ほんと、ここまでやる**営業代行**

見込客創出、面談セッティング、新規顧客開拓、  
クロージング、納入時サポート、納入後フォロー etc.

### VI **RPA**によるバックオフィス削減

営業庶務・営業アシスタント業務はAIが担当  
問合せ・引合い対応、見積書作成はAIが担当

〔あすから〕営業強靱化と営業省力化は同時に叶えるべし



日 程◆2018年12月26日(水)

時 間◆午後 6 時30分～ 8 時30分  
(10分間名刺交換タイム)

会 場◆J R 東京駅そば(後日連絡)

ホスト◆和田創研 和田創  
(「面白くないジョークの会」初代会長)

定 員◆20名前後(会場の定員次第)

参加費◆3千円  
(運営費・会場費など実費程度。消費税別途)

注 意◆事前申込み(先着順。3日前までの振込)

### 参加申込み

- 参加申込書にご記入のうえ、ファクスでお送りください。事務処理と会場運営の都合もあり、早めにお申し込みください。
- 本勉強会より、メールにて請求書と会場地図などをご送付します。
- 開催3日前までに請求書記載の銀行口座へ手数料負担にてお振り込みください。ご入金を確認できないと、不参加扱いとなります。また、返金は致しかねますので、代理の方がご出席ください。
- なお、参加申込みをお断りする場合がありますが、その際に理由を明らかにする義務を負いません。

※WEBで簡単に申し込みます。

<http://robot-business.org/mousikomi.html>

お問合せ先(事務局代行)

和田創研 TEL 050-3786-3704

FAX 050-3737-4562

MAIL [info@wadasouken.co.jp](mailto:info@wadasouken.co.jp)

〒104-0061 東京都中央区銀座1-13-1 ヒューリック銀座一丁目ビル4F

## ロボットビジネス交流会 忘年会

時 間◆午後 8 時30分～10時30分(近隣飲食施設)

条 件◆有志(勉強会の参加者限定)

参加費◆5千円前後(飲食施設に直接支払い)

注 意◆キャンセル不可

会場確保と料理準備の都合があります。  
確実に参加できる方だけお申し込みください。

### 参加申込書

※印は必須にあらず。

交流会忘年会にも参加(チェック必要)

氏名	ふりがな	年齢	才
学歴※	在籍・卒業・中退	出身※	都・道・府・県
MAIL		TEL	-
会社	部署・役職		
住所 〒			

参加申込書にご記入いただいた「個人情報」は、本勉強会の事務手続きと運営などに使用します。それ以外の目的に使用することはありません。また第三者に開示・提供することはありません。

# ロボットビジネス勉強会 設立趣意

(本勉強会は和田創が主宰し、和田創研が事務局を代行します。日本ロボコム株式会社が運営します。)

## ◆本勉強会の趣旨：文系の逆襲、意地と底力

専門知識や技術情報を持たなくてもロボットビジネスを実践するための機会です。  
例えば、新商材・新事業・新会社としての適否を探ります。  
最重視するのは「創り手」と「使い手」をつなぐ「売り手」の発掘です。  
(ロボットに関する先端知識・情報を学習するための機会ではありません。)

## ◆社会・産業動向：万事AI化が確実な情勢

本格的なロボット社会の到来が目前に迫ります。  
①既存商品の多くがAIやIoTと結びつき、広義のロボット化が進みます。  
②産業革命や情報革命をはるかに超えるインパクトが仕事や職場を変えます。  
③国はロボットを戦略的な成長分野と位置づけ、基幹産業に育成します。  
④補助金や融資、出資をもっと受けやすいのがロボットビジネスです。  
⑤ライフ・ワーク・バランスに沿って労働時間短縮、残業減少が図られます。

## ◆経済・経営動向：浸透する自動化・省人化

技術革新の進展と経営環境の悪化によりロボットの導入が勢いづきます。  
①生産年齢人口の減少、求人難により人手不足が深刻化します。  
②企業は原材料費や人件費などが上昇し、収益が圧迫されています。  
③経費削減の一環として、自動化・省人化ニーズが高まっています。  
④世界的な好況、東京五輪の前景気などで吹いている追い風がやみそうです。  
⑤時代の大転換期と重なる2020年代は見通しが不透明です。

## ◆本勉強会の対象：有望事業・収益の愛好者

ロボットビジネスに関心があり、そこから実利を得たいと考える方です。  
①とりわけ現行事業が衰退や消滅へ向かっており、成長性と将来性の高い新規事業を模索する内需・地場企業の社長にお奨めします。  
②経営層に対して新事業や新会社を提案しようとする幹部や精鋭にお奨めします。  
～結果としてプロジェクトの統括や推進を任せられます。  
③すでにBtoB営業を行っている企業に最適です。  
④脱系列・脱下請けを目指す企業に有効です。  
⑤この分野での就職や起業を望む若手や学生も歓迎します。

## ◆本勉強会の内容：おもにオフィスロボット

毎月、サービスロボットの主要カテゴリーを取り上げます。  
①トレンドセミナーで講師が概況と動向などを説明します。  
フィットセミナーでメーカーが事業と商品などを紹介します。  
～商材と具体的なビジネスの可能性にフォーカスします。  
②当初はオフィス（事業所）を中心に商業・興行・宿泊・飲食施設向けのアイテムとなります。  
③次第に自治体、医療介護、管理、建設、物流、農林水産、住宅、教育市場向けのアイテムに広がります。  
④産業ロボットは対象外となります。

## ◆本勉強会の目標：環境適応による生き残り

ロボットに関わる商品や事業の開発、会社の設立を検討します。  
①実際に始めるかどうかは各自の責任で判断してください。  
～本勉強会はいささかも強制するものではありません。  
②将来的に中小・中堅企業のロボットビジネスを牽引したいと考えます。  
～2020年代は不況対策に劣らず環境適応が大事です。  
③会員などとともに10年程で百社の設立を目指します。  
～この内、主宰者は11社の設立に挑みます。

## ◆本勉強会の性格：先取りの高揚感と優越感

伸びやかでしなやかな「遊び心」を大切にしています。  
①カジュアルでご参加くださっても結構です。  
②勉強会では会員と講師・プレゼンターとの質疑応答や意見交換も行います。  
～研究会のような堅苦しい雰囲気ではありません。  
③交流会では自己紹介と名刺交換、ざっくばらんな歓談をお楽しみください。  
④会員のコラボレーションやアライアンスから新しい価値が生まれます。  
⑤本勉強会は営利事業ではありません。  
～主宰者など特定の企業の利益を図るものではありません。  
⑥ボランティアが運営しており、不行き届きの点はご容赦ください。  
～当日の運営に皆さまのご協力をお願いします。

## ◆本勉強会の憲章：一人ひとりに心地よく！

①対等な関係に立脚  
②自由な意思を尊重  
③迷惑な行為を禁止  
※憲章に反する方は参加（申込み）をお断りします。

## ◆ボランティアの募集：個人・法人のご協力を！

本勉強会の企画・運営ボランティアを募集します。  
①会場・講師・プレゼンター・飲食施設手配を行っていただきます。  
②事務連絡・処理、資料準備・配付を行っていただきます。  
③当日受付・司会・会場運営に携わっていただきます。  
④SNSやブログの管理に携わっていただきます。  
⑤情報誌の編集長として取材・執筆・編集に携わっていただきます。  
～PDF版『月刊ロボットビジネス』を発行します。  
⑥東京駅近辺で会場を提供して下さる企業を募集します。  
⑦主要な業種や市場ごとに1社の協賛を募ります。  
～⑥⑦により参加者の費用負担を減らしたいと考えます。  
⑧なにとぞ皆さまのお力添えをお願いします。